



衆議判一會

屠者蘇

連





菊月廿日集

秋の夜

かゝるまを月がなぐし

ニツニツの夜踏もり

何リ水舟出も礎キヌタし

老が寐覚るいふ夜

鹿の音もうら淋し

立よる廊サトの花を

無沙汰のあめを



晴思^{ハルシ}に 心^{ココロ}と神^{カミ}と心^{ココロ}らんし

雲^{クモ}をどよよとあつらんし

枕^{まくら}の塵^{ちり}を恨^{うらみ}むし

山^{ヤマ}が雲^{クモ}をうらむらんし

先^マの埃^{ホコリ}人^{ヒト} 実^{マコト}おぼる末^{スエ}を侍^{サマ}と居^イ

美^ミ見^ミの風^{カゼ}がさうらんし

平^{ヒラ}子^コ陽^{ヨウ}氣^キはゆる居^イ

外^{ソト}へとちいぬ雲^{クモ}らんし

つがよからなる深^{フカ}き居^イ

三^ミ味^ミ丸^{マル} 手^テ拍^{ハク}子^コおるを捨^スち

立^タ吹^{フキ}紙^{カミ}衣^イもらんし

せいのなまを引^ヒき

さいごの世^ヨはを完^マらんし

ノ 尤^{モト}嗟^サ

晴思^{ハルシ}に 心^{ココロ}も神^{カミ}も心^{ココロ}も

雲^{クモ}をどよめくつと

枕^{マクラ}の塵^{チリ}を恨^{ウラミ}むし

はたきしつらぬつと

先^マに候^{ウケ}人^{ヒト} 実^{マコト}おぼる末^{スエ}を侍^{サマ}と居^イ

笑^{ウツクシ}えの風^{カゼ}がさうさう

平^{ヒラ}子^コ陽^{ヨウ}氣^キはゆる居^イ

外^{ソト}へちぢぬ

つがひからなる

三味^{サンマイ}人^{ヒト}

何^{ナニ}もぬ

声^{コエ}は乃^{ナニ}弱^{ヨク}も

せ人^{セヒト}ぬ

さいぎ

ノ 尤^{モトモト} 嗟^サ



